



“いいまち”つくる井町です!!

岡崎市議会議員

井町よしたかの“いいまち”ニュース

(市政レポート)

子供からお年寄りまで幸せを感じられる岡崎市を目指します!

発行：岡崎市矢作町字出口1番地 井町圭孝連絡事務所 (東し労組内) TEL:34-2514

2018年4月 第22号

一般会計は1,235億円、前年度対比0.2%増で過去最大!

	30年度予算額	29年度予算額	前年対比
一般会計	1,235億円	1,233億円	0.2%増
特別会計	648億6,771万円	684億1,503万円	5.2%減
企業会計	530億1,202万円	556億6,081万円	4.8%減
総額	2,413億7,973万円	2,473億7,584万円	2.4%減

今年度の主な新規事業

・防災指導員の育成

地域防災力の向上を図るため、防災指導員制度を創設し、防災専門知識を持った人材を育成していく。

・介護職員のキャリアアップ支援

介護サービス事業所において、職員の資格取得のための研修受講料等を補助した事業所に対してその一部を補助。(Max10万円/事業所)

岡崎市議会は、3月定例議会を2月28日から3月22日までの23日間開会し、平成30年度当初予算など全59議案を審議し全議案可決されました。今年度の予算は「夢ある新しい岡崎の実現に向け、着実に施策を進める予算」と銘打ち、将来にわたり成長する持続可能なまちづくりを進めるために作られました。確実かつ無駄のない予算執行がされるようしっかりとチェックさせて頂きます。

健やかに安心して暮らせるまちづくり

①市民の健康づくり

健康に幸せになれる(健康)そんなスマートウェルネスシティの考え方を取り入れた、まちづくりと融合した健康づくりを『歩いて健康』『食べて健康』の2つの健康づくりを軸に展開していく。



②市道の道路照明灯のLED化

市道に設置されている標準的な形状の道路照明灯約1900灯を10年リース契約でLEDに交換。年間電気代約2000万円削減の見込み。

①女性活躍支援

全ての女性が自信をもって地域活動や職業生活において一歩前に踏み出せる支援として、eラーニングを活用したりカレント教育を推進。

地域で支えあい安全に暮らせるまちづくり

岡崎市の平成30年度の当初予算は、平成32年開院予定の藤田保健衛生大学の救急医療拠点施設整備費、東岡崎駅周辺整備事業などの増加で一般会計は前年度当初比0.2%増の1235億円、4年連続過去最大となった。新年度予算に計上された主要事業の一部を、まちづくり基本政策に沿った形で紹介する。

快適で魅力あるまちづくり

①J.R西岡崎駅のバリアフリー化

平成30年度は、7月までに市による北口・南口の駐輪場の整備工事、7月以降J.R東海による駅舎の改築工事(エレベーター設置に向けた工事)が実施される予定。

②旧耐震住宅の除却費補助

大規模地震により倒壊の危険性がある旧耐震基準の住宅やブロック塀は被災時に生命の危険を及ぼすだけでなく道路閉塞の可能性もあるため除却費等を補助。住宅除却費は、上限20万円、ブロック塀は上限10万円の補助を受ける事が出来る。

賑わいと活力あるまちづくり

①産業立地誘導地区開発

増産したいが拡張できる土地が無い、夜間操業したいが地域に迷惑がかかるなど工場用地の確保に悩みを持つ企業に対して適地を抽出・提案。

自然と調和した環境にやさしいまちづくり

①きれいで快適なまちづくり推進

る川リバーフロント地区、東岡崎駅周辺、JR岡崎駅周辺の整備に伴い『ポイ捨てこめ』『犬のふん放置』『歩きだほこ』等の無ききれいで快適なまちづくりを推進。

③空き家流通活用促進

使用されない空き家の流通・活用を促進するため、関係団体と協働で空き家バンクを設置し、空き家情報を集約・発信。また、安心して中古住宅の売買が行えるよう専門家が行う建物の劣化や不具合事象を調査（インスペクション）する費用の一部を補助。

未来を拓く人を育む まちづくり

①龍北総合運動場整備

愛知県から移管を受ける予定の県営岡崎総合運動場を陸上競技場の建設の他、野球場（二面）、テニスコート（人工芝）、サッカー場（人工芝）、駐車場及び出入り口を整備する。

平成32年7月供用開始予定。

将来まで自律した状態 が続く都市経営

①シテイクプロモーションの推進

将来にわたり市が活力を維持し持続的に発展するために、魅力づくりと情報発信を軸に活動を推進。

①シテイクプロモーションウェブサイトのリニューアル

②プロモーションポスターの発掘・育成・活動促進

③新たな市民参加型プロジェクトの展開の3つを重点プロジェクトとして、相互に連携・活用を図りながらシテイクプロモーションを推進していく。

井町の部屋

八丁味噌の地理的表示保護制度 登録に関する意見書の提出

八丁味噌の地理的表示（G-I）保護制度の登録において、本市の八丁味噌協同組合の申請が取り上げられず、県内の他組合の申請のみが平成29年12月に登録されることとなり、岡崎市議会としても政府に対し、利害者の合意形成について、指導・調整を求める意見書を提出。私としても『八丁味噌』と表示するのに、本家本元の岡崎の八丁味噌が外されている事は大きな問題であるし、2つの組合の合意形成がされないまま登録したことも疑問が残るところ。そして岡崎の八丁味噌がG-Iから外されたことは、岡崎の最も有名なブランドの一つを失いかねないと危惧。

2つの組合が海外のマーケットを拡大するために協力できる体制が作れると、「八丁味噌」というブランドの拡大につながるし、その中で「岡崎の八丁味噌」が他の味噌と違つという高品質を武器に更なるブランド力の向上に繋がる可能性もあるのではないかと考えるが、いずれにしても国にはこの問題の早期解決を図っていただきたい。



3月定例議会で決まりました主な予算以外の議案について、私の見解も含めご紹介させていただきます。

岡崎市墓園条例の一部改正

宗教法人墓地や地域墓地との公平性を図り、維持管理費の受益者負担を求め、事及び墓地使用者を適正に把握し、墓地の無縁化を防止することを目的として、管理料の徴収を平成31年4月1日から行う。具体的な維持管理費には、墓地通路や墓地区画の縁石などの維持管理費、水道代、花殻などのごみ処理費用が含まれ、他の墓地利用者との公平性の観点から議案に賛成した。

区	分	金	額
2型墓地	1区画につき	年額	2,400円
4型墓地	1区画につき	年額	2,700円
6型墓地	1区画につき	年額	3,000円
8型墓地	1区画につき	年額	3,300円

職員定数条例の改正

保育体制の充実等に向けて、職員の定数の適正化を図る。具体的には、
①市長の補助機関たる職員の定数を56人増員し、3101人とする。
②教育委員会の事務局の職員の定数を3人増員し、85人とする。
③地方教育行政の組織及び学校、図書館その他の教育機関の職員の定数を2人増員し、62人とする。
④消防職員の定数を10人増員し、391人とするもので、市民サービスの充実に必要であると判断し、議案に賛成。平成30年4月1日から施行。

井町よしたか 連絡先

事務所 〒444-8522 岡崎市矢作町字出口1番地 東レ労組内

TEL : 0564-34-2514 FAX : 0564-34-2517

自宅 〒444-0931 岡崎市大和町字塗御堂24-6

TEL : 070-5253-4192 FAX : 0564-32-4192

E-mail : yimacchi@m5.catvics.ne.jp

ブログ : <http://ameblo.jp/iimachi-imachi/>



HPIはこちら



政治に参加しよう！

地域の困りごとや、市政に対する意見・ご要望など気軽にご連絡下さい。